

M O N T H L Y **vol.128** U P

AかBか、それとも。
サイズの違い、あれこれ。



本や雑誌、紙のサイズの基本。 最も効率の良い縦横比を持つ、ルート長方形とは。

「ルート長方形」とは、縦と横の比率が $1:\sqrt{2}$ になる長方形のこと。
「白銀比」と呼ばれ、効率的でとてもバランスの良いサイズです。
A1の紙を3回半分にして切るだけで、無駄なく8枚のA4になります。

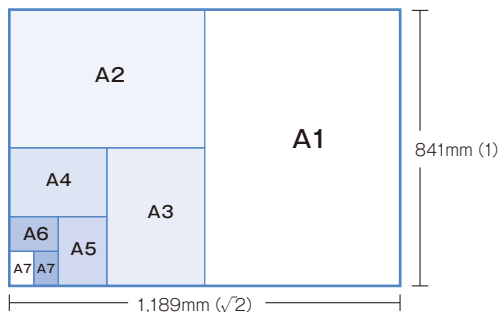
A判、B判の成り立ち

世の中には、いろいろな大きさの本や雑誌があります。その代表的な仕上がりサイズを、大きい順にあげてみます。

- グラフ雑誌など B4判(257×364mm)
- 雑誌・写真集・カタログなど A4判(210×297mm)
- 雑誌・週刊誌など B5判(182×257mm)
- 教科書・辞典・文芸誌・ A5判(148×210mm)
大型単行本など
- 単行本など B6判(128×182mm)
- 文庫本など A6判(105×148mm)

どれも一見半端な寸法に思えますが、このA判、B判のサイズ表示は何を根拠に、どう決められているのでしょうか。

A判はもともとドイツで生まれた規格です。19世紀に、ドイツの物理学者オズワルド氏によって提唱されたもので、日本では1929年に採用されました。現在はISO216で規定されている国際規格です。これは面積が1平方メートルのルート長方形をA0(841×1,189mm)とし、その半分がA1、さらにその半分がA2というように、サイズが小さくなる毎にAの後につく数字が増えていきます。どこまで半分にしても縦横比($1:\sqrt{2}$)の変わらない同じ形、相似形が特徴です。



一方B判は、日本の伝統的な美濃紙を基に決められた、日本独自の規格です。こちらは面積1.5平方メートルのルート長方形をB0(1,030×1,456mm)とし、A判と同じようにその半分がB1、さらに半分がB2となります。日本の公文書には、伝統的なB判が長く使われてきました。しかし1990年代にA判へ移行され、現在ではA判が主流となっています。

個性のひとつ、規格外サイズ

こうした規格サイズ以外にも、国や地域による独自のサイズ、あるいは出版物としての個性を打ち出すために、やや変則的な仕上がりサイズとする例もあります。

- 北米用のカタログ・ レターサイズ*
一般文書など (8.5×11インチ、215.9×279.4mm)
- 新書やマンガ単行本など 新書判(103×182mm)
- タ刊紙など タブロイド判(273×406mm)
- 新聞 ブランケット判(406×546mm)など。

*アメリカで規格化されている文書サイズで、A4判より縦が少し短く、横がやや広い。

もちろん、規格から少しアレンジしたサイズの本や雑誌も、たくさん存在します。文庫本も出版社によって、縦方向の仕上がり寸法が微妙に違うことに、気づいておられる方も多いと思います。また女性誌の多くは、縦がA4と同じ297mmに対して、横がやや長い232mm。A4変型と呼ばれるサイズです。写真を中心としたファッション誌には、A判よりもやや横長の方が、見栄えのバランスが良いのがその理由です。

さていかがでしょうか。一度物差しを手にとり、お手元の本のサイズを測ってみるのも、おもしろいかもしれませんね。



No.I290-ISO/IEC 27001
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



SEZAX

セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511 (代)
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル6F 5F	TEL 03 (3400) 9211 (代) TEL 03 (3400) 9401 (代)
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516 (代)
株式会社セザックスクリエイティブ		
	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル2F	TEL 03 (3409) 4970 (代)
株式会社セザックスドキュメントソリューションズ		
	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2533 (代)

この小冊子は森林認証紙を使用しています。